

平成27年 9月28日

報道関係各位

平成27年度 第2回いわて3Dプリンタ活用研究会開催のお知らせ

岩手県内における三次元造形技術を活用した高付加価値製品の開発等を促進するため、下記のとおり第2回研究会を開催することとしましたのでお知らせします。

つきましては、当日の取材についてよろしくお願ひします。

記

1 開催日時

平成27年9月30日(水) 13:00～ (開場・受付 12:30～)

2 開催場所

ホテル東日本盛岡 14階 オーロラの間

3 対 象

研究会会員を中心とした、県内企業・団体等

4 参加者

80名程度参加予定

5 開催内容

添付のプログラムを参照願ひします。

【問合せ先】 岩手県立大学地域連携室 TEL 019-694-3330 新沼、槻ノ木沢

平成27年度 第2回 いわて3Dプリンタ活用研究会

平成27年9月30日(水) 13:00～

ホテル東日本盛岡 14階 オーロラの間

開催内容

1. 基調講演 三次元造形技術の活用に関する研究内容等の紹介

◆13:00～14:00 基調講演① 芝浦工業大学 デザイン工学部 教授 安齋 正博氏

テーマ: 3Dプリンターで変わるものづくりの未来? ～積層造形の基礎と応用～

最近3Dプリンター(Additive Manufacturing: 積層造形)がなにかと話題になっている。USAで関連分野に予算をつけたたり、makersという3Dプリンターを使えばものづくり革新に拍車がかかるといったベストセラーが出版されたりしたことに起因している。本講演では、積層造形のメリット・デメリットについて述べ、その応用を詳解する。

実際にこの技術がものづくり革新のエンジンとして使えるのかどうかについて考察する。

◆14:05～15:05 基調講演② 株式会社コイワイ 専務取締役 小岩井 修二氏

テーマ: 「3Dプリンター」によるモノづくりの最前線から

近年3Dプリンターが、「ものづくりの革命児」として脚光を浴びている。

コイワイでは、2007年より鋳物造りに3D積層砂型工法を導入。最大1/10もの工期の短縮と精度の向上、また熟練技術に頼らざるを得なかった鋳造作業をデジタル化して、経験の浅い若い技術者にも高精度な物造りが出来る環境を造り上げた。さらに、2012年には3D金属粉末積層工法を導入。医療用インプラント、航空宇宙エンジン部品などの製造を手掛け、3D金属粉末工法の市場開拓中である。

3Dプリンターは革命児か? 物造りの最前線からの紹介。

◆15:20～16:20 基調講演③ 済生会八幡総合病院 整形外科部長 進 訓央氏

テーマ: 整形外科領域における3Dプリンター活用の実例

3Dプリンターは、近年非常に身近なものとなっている。我々は、2010年よりマッキントッシュ用のソフトであるOsiriXを用いて3次元画像を構築してきたが、2013年よりSTLファイルとして出力したデータで実体模型を作成している。骨折、脊椎などの模型ならびに人工肩、膝関節などに対するカスタムメイドガイド等を作成し、術前計画及び実際の手術に用いている。これらについて文献的考察を加えて検討する。

2. 一般講演 三次元造形技術の活用事例等の紹介

◆16:25～17:00 一般講演 中辻金型工業株式会社 総括部長 戸屋 加代氏

テーマ: 3Dプリンターを活用した金型作り

「デジタルモールド®プレス」の技術がもたらす課題と可能性について

試作開発や製造現場で活用される3Dプリンタ。これまで様々な工法にチャレンジしてきた金型屋がその3Dプリンタを活用し、製品ではなくその製品を作るためのプレス金型を作る「デジタルモールド®プレス」にチャレンジした。

また、市場ニーズにおいても「多品種小ロット」「短納期」「オールツール」が求められるようになってきている。実際に作られた製品を紹介しながらデジタルモールド®プレスがもたらすメリットと今後の課題、可能性についてお伝えする。

また、東大阪からものづくりの活性化を目的としたプロジェクト「enjoymono」についても紹介。

3. その他

3Dプリンタ等の展示も予定しております。

(株式会社アピール)